

(様式3)

事業所名 グループホーム扇寿

目標達成計画

作成日： 令和 2年 12月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(3)	運営推進会議のメンバーに地域包括支援センターの職員を加えることにより、地域との交流がより活性化され、利用者へのサービスが向上することを期待する。	南地域包括センターの職員から運営推進委員会のメンバーになってもらい地域との交流がより活発となることで地域に開かれた施設になる。	次回運営推進会議の議題とし、了承を得た上で委員長・理事長・管理者で南地域包括支援センターに運営推進会議開催時への職員派遣をお願いに行く。	3ヶ月
2	(9)	利用者との意思疎通が困難でも、利用者の意向を聞きだす工夫をして、本人らしい生活を支援することが出来る様に期待する。	利用者さん個々に合わせた生活支援、身体介護を行う。	月1回の定期カンファレンス以外に利用者さんのことで新たな発見があったときは直ぐに申し送りノートに記載出来る体制を整える。	3ヶ月
3			スタッフが現在の生活支援や身体介護で利用者さんが満足していると思っても利用者さんにとっては不満足かもしれないということをお忘れず常に利用者さんのクオリティオブライフを追求する。	意思疎通が困難でも時間をかけて利用者さんと会話をしながら表情や語気に注意して意向を読み取る努力をする。	3ヶ月
4	(13)	定期的な避難訓練以外に、想定外の災害に備えることを望む。食料や燃料の備蓄をして、有事の際にも利用者が日常的な生活を維持出来る様に取り組むことを期待する。	取り組みはしているが基準が明確ではないので根拠を明確にし数値化して新たな基準をつくる。	利用者さんが有事の際でも安心、安全に日常生活が維持出来る様に行政からの指導、他施設の取り組みを参考に基準を作成する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。